

2022年度 ANU 若手研究者派遣プログラムについて

現在、オーストラリア国立大学（以下、ANU とします。）法学部と本研究科との間で、研究・教育面での国際協力の取り組みを進めており、その最初の事業として、ANU への若手研究者派遣プログラムを実施します。今後、少なくとも当面の間、このプログラムを毎年度実施する方向で検討を行っており、今年度は2名の若手研究者派遣を計画しています。うち1名分についてはANUからの資金援助による派遣となります。

以下の実施要領をご覧の上、本プログラムによる派遣を希望される方がいらっしゃいましたら、別添の申請書を提出して下さい。また、指導教員の先生には、別添の書式の通り、指導教員所見をご提出いただくことになっておりますので、作成を依頼するようにして下さい。各書式の Word ファイルをご希望の方はビジネスロー・比較法政研究センター（IBC）（ibc@j.u-tokyo.ac.jp）までご連絡ください。

希望者が派遣枠を超える場合には研究科にて選考を行います。

ANU 若手研究者派遣プログラム実施要領

・プログラム実施目的

本研究科の Early Career Researchers（ECR、キャリア初期段階研究者）が ANU に客員研究員として短期滞在し、ANU 法学部の教員・研究者と、研究テーマ（博士論文執筆のための研究を含む）に関する意見交換を行い、また、国際レベルでの共同研究者を探すといった交流を行うとともに、現地で研究（可能であれば研究発表）を行うことにより、国際的な研究実績を上げることを目的とする。

・対象者

本研究科の ECR（法学、政治学を問わない）、具体的には、講師、助教、博士課程大学院生および若手の准教授。

・派遣時期

2023年2月および3月。

・派遣期間

2週間から3週間の間。

・派遣のための費用

1名分につき、ANU 法学部から6,000豪ドル（約60万円）を上限とする助成がある。この助成によってカバーされる費用の中には、エコノミークラス航空券代、宿泊施設利用料等が含まれる。なお、宿泊先はANUで手配される予定である。

もう1名分の派遣については、本研究科から費用を助成する。

・申請書・指導教員所見提出期限および提出先

2022年10月28日17時までに、ビジネスロー・比較法政研究センター（IBC）（ibc@j.u-tokyo.ac.jp）
あてにメールの添付ファイルにて提出のこと。

ご不明の点がありましたらビジネスロー・比較法政研究センター（IBC）までお尋ね下さい。

ご検討のほど、よろしくお願ひいたします。

以上

2022年度 ANU（オーストラリア国立大学）若手研究者派遣プログラム申請書

提出日：2022年 月 日

氏名（ふりがな） 英語表記	()
身分	
生年月日（年齢）	年 月 日（ 歳）
メールアドレス	
住所	
指導教員氏名（院生、助教、 講師の場合）	
これまでの研究歴・職歴 （学部卒業より以降）	
英語の能力を証明する書 類 ※1	
派遣希望時期および期間 ※2	
専門分野および研究テーマ（現地での交流の機会を設定する際に有用な情報ですので、可能な限り具体的に記載して下さい。）	

<p>Please tell us more about your research field and the topics that interest you.</p> <p>(If you are selected, this will help your hosts at the ANU College of Law understand how best to cater to your interests, so please be as specific as you can)</p>	<p>(英語で回答) ※ 3</p>
<p>研究・交流計画 (派遣された場合の ANU での研究活動、もし予定があれば研究発表、および研究のための交流の計画について、可能な限り具体的に記載して下さい。)</p>	
<p>Please tell us about the research activities and interactions you would like to experience during your visit.</p> <p>(This might include, for example, activities like meeting with peers and experts for informal advice on your ideas, or presenting a research proposal or background paper to an audience for feedback)</p>	<p>(英語で回答) ※ 3</p>

- ※ 1 証明書がある場合には写しを添付して下さい。これまでの学歴・職歴の中で留学や海外勤務の経験がある場合にはその概要を記載して下さい。
- ※ 2 渡航時期の調整をお願いする可能性があるため、渡航可能な時期に幅がある場合にはその期間を記載して下さい (例：2022年2月20日から3月22日までの3週間)。
- ※ 3 日本語の欄と英語の欄の双方に記入して下さい。

2022年度 ANU（オーストラリア国立大学）若手研究者派遣プログラム指導教員所見

提出日：2022年 月 日

指導教員氏名	
派遣候補者氏名	
派遣候補者に関する 所見 (候補者が本プログラムによる派遣対象として適切であると考えられる理由を記載して下さい。)	